

「政策企画ワークショップ」プログラム概要

1 実施概要

1 実施概要

日 時 令和5年10月4日(水)

第○時限目 10:00～10:00

場 所 武蔵村山市立第八小学校 6年生(体育館)

授業者 メイン講師:荒木秀典、中野直重

サポート:加瀬みつよ、塩田健太郎

金山日菜乃、菅野新、下島瑞樹、小林早苗、酒井裕子

2 目標

- (1) 自分の属性と遠い他者を演じながらディスカッションすることで、他者の立場に立って考える力を養う。
- (2) チームで政策を立案する体験を通して、社会課題に対して主体的かつ協働的にアプローチする力を養う。
- (3) 我々の財産である血税をいかなる行政サービスに投じるべきか優先付けすることで国家経営の視点を養う。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

4 本時

(1)本時の目標

- ・社会課題を知り、自分で政策を考えることができる。
- ・班メンバーと協力して役や政策課題を深めることができる。

(2)本時の展開

構成	時間	内容	教師の働きかけ 補足指導上の留意点	学習活動に即した具体的な 評価規準(評価方法)
導入	5分	・あいさつ ・趣旨の説明 ・アイスブレイク (学校側で120分用意された場合、本書では90分を想定)	・人員を適切に配置しておく。 ・人員各個の担当する領域を決めておく。	

展開	80分	<p>1、児童一人につき一役決める。 (個人ワーク:5分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一枚、スタンダードカード(年齢と性別)を引く。 ・職業をメニューから選ぶ。 ・名前、家族構成、性格、困りごとを決める。 * 人物シートを使う <p>2、班でそれぞれの役を深める。 (グループワーク:25分程度、一人4分×6人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問いかけをしながら班全員で全員の役を深める (シートを埋めていく) * 問いかけのメニューも用意する予定 <p>3、人物シートを元に政策立案シートを作成する。 (個人ワーク:5分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に「困りごと」を元に作成する。 * 政策分野メニューを作成する予定 <p>4、班で政策を深める。 (グループワーク:25分程度、一人4分×6人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人が発表→みんなで他に良い政策がないか考える。 * メンバーの発表を聞いていて、良い政策があったら自分のシートに加えてもよい。 <p>5、班のメンバーを半分ずつ入れ替える。 (グループワーク:15分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人が発表→メンバーで軽くディスカッション。 * メンバーの発表を聞いていて、良い政策があったら自分のシートに加えてもよい。 <p>6、投票 (個人ワーク:10分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人2票まで投票 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身以外の管轄の班以外でも気を配り、適宜フォローに入ること。 ・ワークシート記入や班内での相互問いかけを行う際、手やディスカッションが止まっていないか机間巡視を徹底する。但し、声掛けの際には答えを提示するものではなく、問いかけによって児童に思考の糸口を提供することを重視すること。また、事前に準備している問いかけメニューを用いるとスムーズである。 ・職業決めや政策分野選択の時は、基本的にはメニュー表から選択する形式をとるが、自身が選択したいものがメニューに予めない場合は、自身で新たな項目を追加してよい。 ・演劇のメソッドが入っている性質上、本プログラムの目的は、画一的な価値観や正しい知識を学習することを重視するものではなく、他者を演じることや政策を一度立案したという体験を提供するものである。 ・荒木と中野は場内全体を把握し、サポーターは各個の管轄班を監督する。その際に、班内の議論を適度にファシリテートするなどのサポートがあるとグループワークが充実するだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中の自己の立ち位置を把握し、自己や他者の持つ役柄や政策について共に検討することができる。 ・自身の持つ役柄を理解し、その役柄の立場に立って物事を深め判断することができる。 ・自身の持っているワークシートを適切に埋めることができる。 ・日本が置かれている現状について、役柄の視点から理解することができ、自身の政策に反映することができる。 ・選挙を通じて、我々の財産である税金の使い道に関して意思を表明することができる。
総括	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・各政策の得票数の開示 ・投票する意味の説明 ・アンケート入力誘導(HRでの入力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の感想を聞いておく。 ・教員からの感想もストックしておく。 	

(3)板書計画(ほかワークシート・使用するコンテンツがあれば記載)

- ・人物シート
- ・政策立案シート

- ・職業メニュー
- ・問いかけメニュー
- ・政策分野メニュー

- ・スタンダードカード(児童にあげる)

※ほか留意事項

年間指導計画、単元の指導計画と評価計画における本テーマの位置付けを認識し、指導観として3つの観点(単元・教材・児童)を整理した上で、指導に当たってのポイントを3つほどに整理して臨むとよい。